

新春知事対談	02	越前岬水仙ランド
グラフスケッチ	06	越前がにミュージアム
くらしを支える県政	08	越前陶芸村
「ふるさと集落」を 元気にしよう	08	ふくい歳時記 水仙まつり
わたしたちのまちの風景	10	越前・若狭のさかな 若狭ふぐ
エボシ山から 望むご来光	10	おもいでノート 谷田部ネギ
		イベント情報
	19	
	18	
	17	
	16	
	12	

こころさんぽ

表紙解説



白川文字学によれば、「火」という漢字は燃え上がっている火の形を表し、そのまま「ひ」を意味しました。古代文字(甲骨文字)の「𤇑」は燃えさかる炎全体を表す字形でしたが、現在の「火」の字は上に火の粉を散らした形を表しています。

表紙写真は白川博士の生まれ故郷・福井の小正月の伝統行事「どんと焼き」。「左義長」とも呼ばれ、1月半ばから2月末ごろにかけて各地の神社や河川敷などでしめ縄や松飾りなどを集めて焚く風景が見られます。



白川 静「字統」平凡社刊より

「グラフふくい」に関する
ご意見・お問い合わせは福井県広報課まで
〒910-8580 福井市大手3丁目17-1
TEL. 0776-20-0220 FAX. 0776-20-0621
E-mail kouhou@pref.fukui.lg.jp

グラフふくい

検索

「グラフふくい」のバックナンバーは、
福井県ホームページ内からご覧いただけます。

子どもたちが 「夢」や「希望」を持てる ふるさと福井を

学力・体力テストで子どもたちが好成績をおさめ、
全国から注目を集める福井県。

平成23年の新春。「学力」「体力」「芸術」の
各方面で活躍する学生の皆さんと西川知事が、
「ふくいの希望」について語り合いました。



福井独自の 「サイエンス教育」

「明けておめでとうござ
います。昨年は、福井の子ど
もたちがすばらしい成果を上
げましたね。」

知事 福井の小中学生の学力
は4年連続、また、体力は3

年連続で全国トップクラスの
好成績をおさめました。本日
お集まりの皆さんは、「学力」、
「体力」、「芸術」の各分野で
ぐれた成果を出しており、ま
さに福井の子どもたちを代表
する存在ですね。

新谷君は昨年、アリの行動

観察に関する研究で、「第1回
南部陽一郎記念ふくいサイエ
ンス賞」を受賞しました。研
究を始めた経緯や魅力を教え
てください。

新谷 小学3年生のときに、
理科の自由研究のテーマとして、
日ごろから身近な存在だった
アリを選びました。調べるた
びに新しい発見や謎が出てく
るところが、アリの魅力です。
特に昨年は、飼育箱と掃除
機を組み合わせた自作の「ア
リ採集マシン」を活用しながら、
アリが餌に集まるのが、味や
においに関する記憶の影響な



西川知事と将来の夢や希望について語り合ってくれた
(右から)窪田さん、北山さん、新谷君

のか、それ
ともアリが
分泌する
フェロモン
の影響なの
か、といっ
たことを研
究しました。



新谷智之君(武生第一中学校2年)
小学3年からアリの行動観察に関する研究
を続け、昨年1月に「第1回南部陽一郎記念
ふくいサイエンス賞」を受賞したほか、年
末には全国規模の「自然科学観察コンク
ール」で最高賞の文部科学大臣賞も受賞

「県では「南部陽一郎記念ふ
くいサイエンス賞」の創設を
はじめ、理科や数学などの「サ
イエンス教育」に力を入れて
いますね。」

知事 福井出身でノーベル物
理学賞を受賞した南部博士の
業績について子どもたちが学
ぶとともに、サイエンス分野
に対する関心を高め、研究を
深めてもらおうと、昨年度、
賞を新設しました。

サイエンス教育は、単に理
科や数学を勉強するだけでな
く、人間と生き物、環境など
とのつながり、さらには命や、
人と人とのつながりの大切さ
を学ぶという、広い意味での
道徳教育にも関係すると思

子どもの体力日本一

「次は北山さんです。ポート競
技を続けることができた原動力、
ユースオリンピックのポート競技
に日本人で唯一出場した感想を
教えてください。」

北山 原動力となったのは、「仲